



平成22年10月4日
中部経済産業局

中部の「地域産業資源活用事業計画」 平成22年度第2回認定について

中部経済産業局では、平成19年6月に施行された、「中小企業地域資源活用促進法」に基づく「地域産業資源活用事業計画」について、中部地域における平成22年度第2回の認定として、本日、4件の認定を行いました。

1. 中部経済産業局では、平成19年度から、中小企業支援策の重要な柱の一つとして「中小企業地域資源活用プログラム」による支援を促進しております。
2. 本事業は、産地の技術、農林水産品、観光資源といった地域の特徴ある産業資源を活用して、中小企業者が創意工夫によって域外市場を狙った新商品、新サービスの開発・事業化を目指しており、この度、平成22年度第1回として4件の地域産業発展の核となる新事業を認定しました。
3. 中部経済産業局では、平成19年度に45件、平成20年度に49件、平成21年度に40件、平成22年度に4件の認定を行っております。（今回の認定により、法施行後、当局認定件数は142件となります）。
4. 事業計画の認定を受けた事業者は、事業計画に基づく試作品開発や販路開拓に対する補助金、設備投資減税、信用保証の特例、政府系金融機関の低利融資、専門家によるアドバイス等の各種支援施策を受けることが可能となります。

（お問い合わせ先）

中部経済産業局 産業部 経営支援課

担当：稲垣、長谷川

電話：052-951-0521（直通）

FAX：052-951-9800

中小企業地域資源活用促進法に基づく地域産業資源事業計画の認定一覧

NO	地域名	事業名	事業概要	地域資源 (3類型)	法認定事業者
1	愛知県 田原市	田原茶の特徴である肉厚茶葉の効能を活かした健康志向の「お茶入極薄チップス」の製造販売事業	<ul style="list-style-type: none"> ・お茶自体の需要が減少する中、同社が持つ茶に関するノウハウを生かした製品開発が課題だった。そんな折、同業者より水産物などの素材を“発泡・圧縮・柔軟”加工し、チップス状にできる製造機があることを聞き、同社の新事業にも展開できると考え、シラスの加工業者等と連携し、平成21年3月に茶葉入りのチップスを完成させた。 ・本商品は、田原の肉厚茶葉を長時間蒸して作った同社の深蒸茶を混ぜることで、お茶自体が持つカテキン類などの効能を謳うとともに、製造過程では油・添加物を一切使わない健康志向の商品である。また、お年寄りや子供にも食べやすい薄さとなっている。 ・現在では、東京巣鴨をはじめとする直営店や道の駅、産直広場などで販売を行っている。将来的には、ギフト商品としての需要もにらみパッケージ等の改良を加えていくとともに、シラスだけでなく地域産品である豚や牛などのジャーキー等にも製法を展開していく計画である。 	茶 (農林水産物)	磯田園製茶株式会社
2	岐阜県 多治見市	美濃焼の技術を用いたリチウムイオン電池正極材等を焼成する際に使用されるセラミックス製の容器(匣鉢(こうばち))の製造・販売	<ul style="list-style-type: none"> ・同社は、タイルおよび食器向けの匣鉢(陶磁器焼成時の耐火性容器)の製造を営んできたが、国内のタイル需要の減少が続いていた。そこで、美濃焼の土練技術や、長年同社が培った「乾式成型」製法を活かし、リチウムイオン電池の正極材料に使用されるリチウムの焼成のための匣鉢の開発に成功した。 ・本製品は、コーディエライト(匣鉢専用の原料)の自社開発に加え、原料調達から製品出荷までを一貫生産とすることで、耐熱性、寸法精度、耐浸食性、低価格での安定供給等において競争優位性を有している。 ・世界のリチウム電池市場は、ノートパソコンや携帯電話などに加え、ハイブリッド車やEV車の普及により、2009年の8410億円から2014年には3兆1040億円に拡大する見通しとなっており、同社では、国内メーカーをはじめ、中国や韓国のリチウム電池メーカーへの直接販売を見込んでいる。 	美濃焼 (鉱工業品)	余語匣鉢株式会社
3	三重県 松阪市	三重県産大豆フクユタカと地元海産物等を活用した新食感ふりかけの製造・販売事業	<ul style="list-style-type: none"> ・三重県産フクユタカの新たな需要の掘り起こし・加工について模索していた地元JAより、フクユタカの加工協力を依頼された。同時に、地元農業公園ベルファームより地元産高級食材「伊勢ひじき」を使った手順に食せる商品開発を依頼された。これらを融合し、当社の持つ食品加工のノウハウによって、素材の良さを生かした新食感の商品が完成した。 ・本商品は、これまで豆の堅さゆえに、豆腐・揚げ商品等にしか活用されてこなかった三重県産大豆フクユタカの特徴を逆手にとり、適度な歯触りがあり、食材本来の風味や旨味をいかした、添加物不使用の新食感大豆ふりかけとなっている。 ・今後は既に取り引実績がある卸売事業者、地元スーパーを通じ、GMSや一般小売店の開拓に努める。 	大豆 (農林水産物)	有限会社寿総合食品
4	富山県 小矢部市	ガラスリサイクル園芸用砂利「改良スーパーソル」の製造・販売	<ul style="list-style-type: none"> ・従来のガラスリサイクル製品「スーパーソル」は、土木建築向け及び一般家庭向け防草・防犯用資材として販売されているが、生産工程では多種の廃ガラスを一括破碎しており、各種添加剤(鉛、ヒ素等)が混合しているため、灰色の発色となっていた。 ・同社は、高純度の廃板ガラスと廃棄ガラス容器との混合比率の工夫により、白色スーパーソルの開発に至った。さらに、着色添加剤の独自の工夫により多色化を実現した。 ・加えて1次破碎工程の精度向上、焼成・発泡後の2次破碎工程の工夫により、園芸用砂利に求められる数段階の粒度調整も実現したことから、従来にないインテリア・エクステリア向け園芸用砂利という新たな用途展開を図るものである。 ・既存販路であるアイリスオーヤマ(株)に加え、展示会等への積極的な出展によりホームセンター、生活協同組合等の新規販路開拓を図る。 	ガラス製品 (鉱工業品)	三陽陸運株式会社

3類型	農林水産物	通巻番号	4 - 22 - 005
地域資源名	茶	認定日	平成22年10月4日
地域	新城市、豊橋市、豊川市、 田原市、豊田市	所管省庁	農林水産省、経済産業省

事業名：田原茶の特徴である肉厚茶葉の効能を活かした健康志向の「お茶入極薄チップス」の製造販売事業

会社名：磯田園製茶株式会社

所在地：愛知県田原市田原町柳町28番地の1

連絡先：TEL：0531 - 22 - 0368

H P : <http://www.isodaen.co.jp/>

FAX：0531 - 22 - 4100

事業概要(新たな活用の視点)

- ・同社は、茶園生産～製茶～卸～小売といった一連の機能を所持している製茶事業者。平成22年度、愛知県茶品評会「深蒸し茶の部農林水産大臣賞」を受賞。愛知を中心に、北海道・東京から中部地域まで30店の直営店を持っている。
- ・お茶自体の需要が減少する中、同社が持つ茶に関するノウハウを生かした製品開発が課題だった。そんな折、同業者より水産物などの素材を“発泡・圧縮・柔軟”加工し、チップス状にできる製造機があることを聞き、同社の新事業にも展開できると考え、シラスの加工業者等と連携し、平成21年3月に茶葉入りのチップス(商品名「お茶入りいきいき健康百歳チップス」)を完成させた。
- ・田原の肉厚茶葉を長時間蒸して作った同社の深蒸茶を混ぜることで、お茶自体が持つカテキン類などの効能を謳うとともに、製造過程では油・添加物を一切使わない健康志向の商品が出来上がった。
- ・せんべいなど固いものはお年寄りや子供に敬遠されてしまうので、彼らも食べやすい薄い物ができないかと試行錯誤した経緯がある。
- ・現在では、東京巣鴨をはじめとする直営店や道の駅、産直広場などで販売を行っている。将来的には、ギフト商品としての需要もにらみパッケージ等の改良を加えていくとともに、シラスだけでなく地域産品である豚や牛などのジャーキー等にも製法を展開していく計画である。



【自社の茶畑】



【茶葉入り極薄チップス】

売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

競争力

- ・地域内で茶葉を入れ込んだチップスを生産している事業者はいない。

市場性

- ・お茶うけのお菓子としては誰でも食べられるような薄さであり、健康食品やせんべい等とは違った市場を開拓できる商品となっている。

販路

- ・販路としては、現状の直営店、道の駅だけでなく、同社が持つ茶の卸ルートを活用してギフト系商品としての拡販を目指す。

地域における関係事業者等との連携

- ・同地域内にある水産事業者(有限会社長栄)よりシラスの供給を受けている。

3類型	鉍工業品	通巻番号	4 - 22 - 006
地域資源名	美濃焼	認定日	平成22年10月4日
地域	多治見市、瑞浪市、土岐市、 可児市	所管省庁	経済産業省

事業名:美濃焼の技術を用いたリチウムイオン電池正極材等を焼成する際に使用されるセラミックス製の容器(匣鉢(こうばち))の製造・販売

会社名:余語匣鉢株式会社

所在地:岐阜県多治見市笠原町上原1647

連絡先:TEL:0572-43-2748

HP:-

FAX:0572-44-1911

事業概要(新たな活用の視点)

- ・同社は昭和24年の創業以来、タイル・食器向けの匣鉢(焼成時に使用される焼成道具の容器)の製造を営んできた。
- ・国内のタイル需要は減少しており、新分野への展開を模索する中で、平成20年にリチウムイオン電池正極材の焼成用匣鉢市場への進出を開始した。
- ・「美濃焼の土練技術」と長年同社が培った「乾式成型技術」を両立させ、高い寸法精度で寿命の長い同電池用匣鉢の開発に成功した。



【リチウム電池用匣鉢】

売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

競争力

- ・同社は、原料調達から製品出荷までを一貫生産しており、本事業製品も独自の材質開発や土練、成形工程等において、研究開発を重ねた結果、製品化に成功している。
- ・同社の匣鉢は、寸法精度・耐浸食性・低価格での安定供給等において競争優位性を有している。

市場性

- ・世界のリチウム電池市場は、ノートパソコンや携帯電子機器等に加え、ハイブリッド車やEV車の普及により、2009年の8410億円から2014年には3兆1040億円に拡大する見通しである。
- ・同社の匣鉢は、リチウム電池メーカーの要望する製造工程の自動化や軽量化、長寿命化ニーズに対応が可能である。

販路

- ・リチウム電池メーカーへの直接販売を見込む。
- ・国内メーカーに加え、中国・韓国等への輸出も想定している。

地域における関係事業者等との連携

- ・岐阜県セラミックス研究所や名古屋工業大学セラミックス基盤工学研究センターと連携し、共同研究などに取り組んでいる。



【正極材焼成の様子】



【油圧プレスによる乾式成型】

3類型	農林水産物	通巻番号	4-22-007
地域資源名	大豆	認定日	平成22年10月4日
地域	三重県全域	所管省庁	農林水産省、経済産業省

事業名：三重県産大豆フクユタカと地元海産物等を活用した新食感ふりかけの製造・販売事業

会社名：有限会社寿総合食品

所在地：三重県松阪市松崎浦町315番地16

連絡先：TEL：0598-51-7188

H P：http://kotobuki-fr.com/

FAX：0598-51-7199

事業概要(新たな活用の視点)

- ・これまで豆の堅さゆえに、豆腐・油揚げ商品等にしか活用されてこなかった三重県産大豆フクユタカの特徴を逆手にとって、適度な歯触りがある、新食感の大豆入りふりかけを完成させた。
- ・クラッシュした大豆と海藻類などを組み合わせた惣菜は珍しく、適度な歯触りと、蒸し大豆で引き出された旨味が、生ふりかけならではの食味に仕上がっている。

売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

◆競争力

- ・本事業商品は、三重県産大豆フクユタカの旨みをうまく引き出し、噛みしめると旨み成分がにじみ出るとともに、今までのふりかけとは異なる独特の食感を生み出している。
- ・同社の持つノウハウによって、良質の地元三重の原材料を厳選し、安定した品質の素材を確保するとともに、添加物を一切使用せず、素材のよさを生かす食品づくりを行っている。

◆市場性

- ・ふりかけ市場は、内食需要が高まる中で堅調に推移しており、その中でも、大豆をベースにした生タイプのふりかけは、従来の乾燥タイプにはない、食感・食味・栄養価があり、内食志向・健康志向のニーズにも十分応えられる。

◆販路

- ・既に取り引実績がある卸売事業者、地元スーパーを通じ、GMSや一般小売店の開拓に努める。

地域における関係事業者等との連携

- ・地元JAや農林水産事業者と相互信頼関係を築き、良質な原材料の安定供給を受ける。
- ・同社は本事業の取り組みの他、従来より地域の農林水産事業者とともに未利用資源の活用のため、試作や受託加工などで相互に協力を行っている。



【漁師のおにぎり・かつおひじき】



【盛りつけ例】

3類型	鉱工業品	通巻番号	4 - 22 - 008
地域資源名	ガラス製品	認定日	平成22年10月4日
地域	富山市、高岡市、射水市、 砺波市、小矢部市	所管省庁	経済産業省

事業名： ガラスリサイクル園芸用砂利「改良スーパーソル」の製造・販売

会社名： 三陽陸運株式会社

所在地： 富山県射水市布目沢622

連絡先：TEL： 0766 - 53 - 0034
FAX： 0766 - 53 - 0234

H P： <http://www.r-sanyou.co.jp/>

事業概要(新たな活用の視点)

- ・従来のガラスリサイクル製品「スーパーソル」は、地球に優しい土壌還元型資材として、土木建築向け及び一般家庭向け防草・防犯用資材として販売されているが、生産工程では多種の廃ガラス(廃棄ガラス容器、廃板ガラス)を一括破碎しており、各種添加剤(鉛、ヒ素等)が混合しているため、灰色の発色となっていた。
- ・同社は、ガラスの2次加工メーカーの集積地という産地特性により高純度の廃板ガラスを大量に調達できることから、廃棄ガラス容器との混合比率の工夫により、白色スーパーソルの開発に至った。さらに、着色添加剤の独自の工夫により多色化を実現した。
- ・加えて1次破碎工程の精度向上、焼成・発泡後の2次破碎工程の工夫により、園芸用砂利に求められる数段階の粒度調整を実現したことから、この「改良スーパーソル」を従来にないインテリア・エクステリア向け園芸用砂利として、新たな用途展開を図る。



【改良スーパーソル】

売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

競争力

- ・多孔質な構造特性から高い通気性と保水性を持ち、肥料・養分を吸着する能力にすぐれた園芸土壌材である。また、多色化と粒度調整により、エクステリアやベランダ菜園、インテリア観葉植物の鉢床材への利用等、多彩な味わいを楽しめる園芸土壌材として競合優位性を有する。

市場性

- ・ガーデニングの市場規模は、近年約2,000億円で安定的に推移しており、家庭菜園分野(野菜苗、果樹苗)は拡大傾向にある。

販路

- ・既存販路であるアイリスオーヤマ(株)に加え、展示会等への積極的な出展によりホームセンター、生活協同組合等の新規販路開拓を図る。

地域における関係事業者等との連携

- ・ガラス2次加工メーカーとの連携によるリサイクル事業の共同推進。
- ・富山県立大学との連携による生産効率性向上等の共同研究。



【用途の一例】